

平成27年2月26日

大山町議会議長 野口俊明様

議席番号 8 番 大山町議会議員 杉谷 洋一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

| 質 問 事 項 と 要 旨 | 質問の相手 |
|--|-------|
| <p>1. 仁王堂公園の活用について</p> <p>仁王堂公園は、町内の二大観光地の「国立公園大山」と国内最大級の弥生時代集落跡の「県立むきぼんだ史跡公園」の中間地点に位置し、大山ICからも近く、交通に便利で地理的な条件に恵まれ、雄大な大山北壁や日本海の眺望が素晴らしく、海あり山ありの風光明媚で家族の憩いや癒しの広場として、また高齢者のスポーツ・各種イベント・野菜の朝市など、本町の中心的な場所となってきた。</p> <p>また、遊園地の遊具が改装され、小さな子ども達が安心して遊べる親子の触れ合いの場として、土日祝日は米子市や周辺地域から多くの家族連れなどで賑わい、平日は各市町村の保育園や小学校の遠足・子供会など、野外教育施設として、利用者が年々増加の一途をたどっている。</p> <p>更に、グラウンドゴルフ場では各種大会を初め、沢山のグラウンドゴルフ愛好者が健康増進や出会いの場や憩いの場として利用している。</p> <p>仁王堂公園は、平成7年、旧大山町が1億創生事業で県と町とで公園として整備され、遊具は小学生のアンケートの調査結果に基づいて審議会で決定した。更に平成9年には、大山一円の守護神、大山カラス天狗(8.88m)が設置された。また、山陰道がほぼ開通し観光ルートとして鳥取方面からの観光バスなどの往来が増え、更に昨年11月、アウトドアメーカー(モンベル)を中心としたアウトドアスポーツとしての自然を満喫する新しい旅の形「ジャパンエコトラック」の第一号ルートとして、大山道路を含め認定され、県も歓迎し看板や標識表示の整備、多言語対応パンフレットなどの取り組みを打ち出した。</p> <p>ルート上にある仁王堂公園は若者や外国人が集まる場所として、更なる集客増が期待されると考えるが、現在、利用者から屋根付きの休憩施設やトイレ・駐車場の不足などが指摘されている。</p> <p>町長は、将来を見据えた仁王堂公園の活用を、どのように考えているのか見解を伺いたい。</p> | 町長 |

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



| 質 問 事 項 と 要 旨 | 質問の相手 |
|--|-------|
| <p>2. 野菜テーマパーク構想について</p> <p>農業と観光は本町の基幹産業であり、大山未来会議の報告会で提言があった農地と観光を一体化した「野菜テーマパーク」構想は全国的に奇抜で面白いアイデアである。</p> <p>子どもたちが野菜に愛着を持ち、自然のなかで様々な野菜が成長する喜びや、その過程での新しい発見や感動ができ、成長過程の子供たちに教育の場として役立つと考える。</p> <p>また、既存農地を利用した「野菜テーマパーク」は農業と観光の町である本町の未来に向け夢が広がり、大山と日本海を背景に四季の色とりどりの花や収穫の楽しみや野菜販売など、農業と観光の新しい目玉として、大山町から発信することにより、野菜販売などによる観光客の増や子どもたちの教育の場など様々な交流が図れ、活力がある元気な町の推進につながると考える。</p> <p>家族連れなどの集客が多く、今後、観光の核となると思われる仁王堂公園付近の既存農地を活かした「野菜テーマパーク」をつくってはどうか。町長の見解を伺いたい。</p> | 町 長 |

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育委員長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。